

「森野銀行小山支店」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、照葉樹林です。国内では沖縄県から東北地方南部、世界では東アジア、北アメリカのフロリダ半島、南アメリカのチリなどの暖温帯に分布し、シイ属、アカガシ亜属、タブノキ属、ツバキ属などの種で構成されます。

イチイガシ：国内の照葉樹林構成種の代表で、高さ30m、胸高周囲5m以上に達します。宮崎県にはイチイガシの原生状態の樹林がたくさん残っています。照葉樹林は常緑のため、紅葉、落葉がなく年間を通じて暗い森林です。



照葉樹林の樹木は、冬でも緑の葉を茂らせます。このおはなしの舞台は、九州地方と想定しました。

ヤブツバキ：国内の照葉樹の代表種。冬に赤色の実をつけ、果実はつばき油として利用されます。葉の表面に光が当たると照ることから、照葉樹という用語が生まれました。

イチイガシの実



登場する樹木、動物、植物などから、このおはなしの舞台は、**九州地方**と想定しました。

KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森林についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。(2016年7月中旬公開予定)
HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp

絵本活用のヒント

第3回中高生の部金賞受賞作品

「森野銀行小山支店」



KOBELCO 森の童話大賞について

KOBELCO森の童話大賞は、神戸製鋼グループが主催する、小学生・中学生・高校生を対象とした、「森」をテーマにした創作童話のコンテストです。

たくさんの生きもののいのちを育み、私たちの暮らしに豊かな恵みを与えてくれる森はとても大切な存在です。そんな森に思いを寄せて、自由な発想でつくっていただいたおはなしを募集しています。

金賞作品のおはなしは絵本化し、後援していただいた県・市・町の学校・図書館等にお贈りします。

自分がつくったおはなしが絵本になる。そんな場をイメージしながら、みなさんも、おはなしづくりにチャレンジしてください。

「森野銀行小山支店」の世界



ヤマバト (キジバト)

平地から山地の明るい森林に生息しています。
最近では都市部でも見られるようになりました。
雄のさえずり声が特徴的です。



ルリビタキ

体長約14cm。
体側面はオレンジ色の羽毛で覆われています。オスの成鳥は頭部から上面にかけて青い羽毛で覆われています。幼鳥や、メスの成鳥は、上面の羽毛は緑褐色です。



森野熊太さん

森野銀行小山支店長



林田ウサ子さん

森野銀行小山支店窓口



森野銀行小山支店受付係
銀行ポスターのモデルさん



イノシシ

山の中の木の実を食べて生息しています。近年は、市街地に出没することもあります。